

(様式1)

教科用図書調査に関する報告書

教科	音楽（器楽）
----	--------

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
17 教出	器楽 751	中学器楽 音楽のおくりもの	<ul style="list-style-type: none"> ・P 6 のタンギングの指導のためのアーティキュレーションの音域別のアタック音の表は、アルトリコーダーの導入に適しており、リコーダー奏に用いる四つの奏法へのつながりを持って指導しやすい。 ・生徒の興味を引く楽しそうな曲名の楽曲があり、段階を追って主体的に練習ができる構成となっている。 ・運指表やワンポイントアドバイスなど、1 ページに多くの情報が掲載されており、やや見づらく感じる。 ・1 ページの情報量が多く、全体のページ数はやや少なめである。 ・アルトリコーダーとソプラノリコーダーで同じ曲を吹く学習があるが、運指に違いがあり生徒の戸惑いが予想される。 ・生徒が普段見慣れていない縦譜（箏曲の楽譜）が大きく掲載されており、同じ曲の五線譜と対比しながら、主旋律の表れ方を確かめ、演奏することができる。 ・ワークシートに生徒の興味・関心を引くような工夫がされており、管楽器・弦楽器など種類の違う楽器をグループ化したり、比較したりして学びを深めることができる。

発行者 の番号 ・略称	教科書 の記号 ・番号	教科書名	調査結果の概要
27 教 芸	器楽 752	中学生の器楽	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの学習に関しては、ポイント練習をした後に楽曲の演奏に取り組むというパターンになっており、「知識及び技能」の習得と「思考力・判断力・表現力等」の育成をバランスよく段階的に図れる工夫がされている。 ・楽譜や運指、ポイントの説明など、簡潔で生徒にとって見やすく、理解しやすい紙面構成となっている。 ・1ページの情報は適切であるが、全体のページ数はやや多めである。 ・アーティキュレーションを意識することに特化した練習曲もあり、生徒の発達段階に即して系統的・発展的に学べる工夫がされている。 ・和楽器の単元は、音楽（一般）の鑑賞教材と関連付けられており、三味線の学習では「勸進帳」の長唄が紹介されている。 ・太鼓や篠笛のページには、郷土の祭りや伝統芸能の写真が掲載されており、音楽に関する歴史や文化的意義、生活や社会において音や音楽が果たしている役割を理解しやすい。 ・打楽器の奏法については、説明とともに写真があり、視覚的にも学びやすく、生徒が意欲的に演奏することができる。 ・ユニバーサルデザインの観点からフォントや紙面構成が見やすく配慮されている。 ・全般的に楽譜が非常に見やすく、演奏の練習に効果的である。